

008 山岸治家文書と目録作成について

1 山岸家（須坂市井上幸高 1336 番地）より「土蔵の改築にあたり、先祖の残した史料がたくさん見つかったが、どのように整理保存したらいいか」と 2007（平成 19）年 12 月に、須坂市立博物館に相談が持ちかけられた。博物館ではさっそく訪問し、史料を見せていただき、貴重な史料であることを確認し、整理をさせていただくことにした。

2008 年 2 月に、全史料が博物館に持ち込まれた。

2 持ち込まれた史料は、20 箱に収納されていた。整理にあたっては保存状態を尊重し、箱ごとに整理し、目録化することにした。

このように、整理・目録化された状態で、2008 年 5 月に、須坂市誌編さん室に史料が持ち込まれ、そこでさらに須坂市全体の史料通し番号（家別番号）を「008」とし、目録を完成させた。

箱番号	史料	点	箱番号	史料	点
1	写真など	18	11	土地関係証書、教科書	60
2	写真、手紙など	8	12	図書など	10
3	手紙など	63	13	地所質入れ証など	23
4	土地売買関係書類等	6	14	土地関係証書など	37
5	養蚕講、伊勢講など	21	15	図書、日記など	19
6	図書、土地質流など	29	16	日記、回顧録など	31
7	教科書、アルバム	10	17	婚礼目録、硯箱など	14
8	土地台帳など	14	18	図書	15
9	図書、土地質流等	28	19	万覚帳、通帳など	206
10	軍隊関係書類など	60	20	風呂敷、羽織など	7

総数 679 点

3 山岸家の当主略系図は、次のようになる。

(1) 山岸家の当主略系図は、次のようになる。

①要八（初代）－②文左衛門（安政 5 年死亡）－③伊左衛門（明治 6 年死亡）－
④重助－⑤住蔵－⑥勇－⑦治

(2) 史料から

① 土地関係の史料が多く、幕末のころから明治～昭和にかけて土地を集積しながら、農業経営者として大きく成長してきたことがうかがえる。

② 太平洋戦争中の史料が多く残されている。

特に、特攻隊員として戦地に赴く山岸邦夫（6 代勇の父）が、両親と妻に宛てた「遺書」は、当時の人々の緊迫した精神状況が読み取れて貴重である。

平成 20 年 5 月 30 日 須坂市誌編さん室